

## 令和元年度第2回経営協議会議事要旨

日 時 令和元年10月28日（月）9時55分～11時20分  
場 所 札幌駅前サテライト（教室1）  
出席者 学外委員：今井、柿沼、蔵本、佐藤、松岡、見上  
学内委員：蛇穴、佐川、後藤、横山、黒崎  
オブザーバー：中尾、玉井、海老名  
欠席者 学外委員：小野寺

議事に先立ち、学長から、令和元年10月1日付けで、新たに経営協議会委員に就任した理事の紹介があった。

また、副学長の陪席について説明があり、了承された。

### ◎ 経営協議会委員名簿の更新について

学長から、資料1に基づき、経営協議会委員名簿の更新について、報告があった。

### ◎ 令和元年度第1回議事要旨の確認

学長から、資料2に基づき説明があり、確認・了承された。

### ◎ 議題

#### 1 令和元年度人事院勧告に伴う本学の対応について

黒崎理事及び人事課長から、資料3に基づき、令和元年度人事院勧告に基づく本学の対応について説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

#### 2 役員の退職手当の支給について

学長から、資料4に基づき、令和元年8月31日付け退職の監事にかかる退職手当の業績勘案率について提案があり、審議の結果、提案どおり了承された。

### ◎ 報告

#### 1 育児・介護休業制度等パンフレットについて

黒崎理事から、資料5に基づき、育児・介護休業制度等パンフレットの作成及び今後の教職員への周知について、報告があった。

### 【学外委員からの主な意見等】

- 育児・介護休業制度を紹介する資料を作成する際には、当該制度を使う側の目線で整理していくことが重要である。併せて、職場において、当該制度を利用しやすい環境を醸成していく必要があると考える。
- 育児・出産のための諸制度について、当該制度を利用する職員が、どのような順番で、どう活用すればよいのかをイメージしやすいようにパンフレットにまとめるべきと考える。

## 2 令和3年度改組予定の新教職大学院について

学長及び佐川理事から、資料6に基づき、令和3年度に改組予定の新教職大学院の構想等について、報告があった。

### 【学外委員からの主な意見等】

- 大学入学から卒業までの教員育成段階はもとより、北海道教育委員会及び札幌市教育委員会における採用、研修の段階においても、北海道教育大学が教育委員会から頼られる存在になってほしい。そのためには、教員育成の中身、採用後の教員研修、教職大学院への現職教員の派遣等に対する大学の関わり方について、教育委員会と徹底して話を詰めていくことが重要であると考えます。
- 北海道教育委員会では、教員の資質をどう高めていくのかが課題となっている。そのため、現職教員の資質能力向上のプロセスに、教職大学院における学びを組み入れていくことや、教職大学院を修了した者が、教員に復帰した際にプラスになるような仕組み作りなど、北海道教育大学と密に連携を深め考えていきたい。
- 北海道は、青年海外協力隊経験者の現職教員が多いことから、発展途上国での教育活動の体験を還元できる場を教職大学院に用意することを検討してほしい。
- 現在、多くの大学が、教職大学院の入学定員を増やしているが、入学定員の充足に苦慮している現状がある。教職大学院における学びが、現職教員のインセンティブになるような仕組みを検討するなど、教育委員会と密に連携し、入学定員をしっかりと確保できるように取り組んでほしい。

## 3 平成30事業年度財務諸表及び剰余金繰越の承認について

黒崎理事から、資料7-1及び資料7-2に基づき、平成30事業年度における財務諸表及び剰余金の繰越しについて、それぞれ文部科学大臣から承認されたことについて、報告があった。

併せて、財務レポート2019の概要について、報告があった。

## 4 令和2年度概算要求額について

黒崎理事及び財務部長から、資料8-1から資料8-3に基づき、令和元年8月30日に文部科学省から財務省へ提出された要求事項について伝達があった内容及び機能強化の取組に関する戦略の進捗状況等について、報告があった。

## 5 本学におけるLGBT等への今後の対応について

佐川理事から、前回の経営協議会（6月19日開催）において要望のあったLGBT等への対応について、本学の現状と課題等の報告があった。

以 上